

# フリースペースかめっこたより

令和6年11月20日発行  
 特定非営利活動法人亀っ子サポート  
 事務所  
 〒519-0103 亀山市川合町766番地7  
 ☎0595-86-6186  
 e-mail:kamekko@zc.ztv.ne.jp  
 文責 椋谷 英一

## 11・12月の行事予定

11月22日(金)9:45~11:15  
 スポーツデー 西野公園体育館で遊ぼう  
 ふれあい教室のお友達と一緒に体育館  
 で運動します  
 持ち物 体育館シューズ、タオル、飲み物

11月29日(金)  
 13:00~14:30  
 クリスマスツリーを作ろう  
 クリスマスツリーをアレ  
 ンジして自分だけの素敵  
 な作品を作ろう  
 (共同募金配分金事業)



12月10日(火)  
 10:30~11:30  
 茶道(裏千家)  
 茶道(裏千家)の作法  
 を学んで、お茶をたしな  
 む  
 (共同募金配分金事業)



10月28日(月)近くの畑で、芋ほり体験活動をしました。  
 また、11月15日(金)には、みんなで掘ったさつまいもを使ってスイーツポテトを作りました。材料は、さつまいもとアイスクリームだけです。是非お家でも作ってみてください



芋ほりとスイーツポテト作りをしました

10月31日 文部科学省が公表した令和5年度「問題行動・不登校調査」の結果では、不登校の児童・生徒数が前年度よりも約16%増加の約34万6000人と、大きく増えていることがわかりました。なぜこんなに増えたのでしょうか。(AERAキッズに掲載された不登校ジャーナリストの石井しこうさんのお話の抜粋)

本文では、不登校が増えた理由を4つに分けています。

- 嫌がる子を無理に通わせない保護者が増加
- 子どもの事情を学校が把握できていないケースが多数
- 学校と子どもの「マッチング・トラブル」が顕著に
- 不登校の原因、「いじめ」は最下位?

その中の『学校と子どもの「マッチング・トラブル」が顕著に』を抜粋しました。

——小中学生の子どもたちが、親や教師から見て「無気力」になってしまう原因はどこにあるのでしょうか。表面的にはただやる気がないように見えても、その理由や原因は人によってさまざまです。例えば、いじめなど何か理由があって学校に行けないという子もいる

でしょうし、そもそも、特性として、集団生活が合わないという子もいます。

そういった子たちが無理に学校に行こうとすれば、毎朝起き上がれないほど疲れてしまうのは当然ですよね。本当は、不安や抑うつを抱えて苦しんでいる子どもも少なくないのに、学校や先生が「無気力」というとらえ方をすることで、本当の問題や実態を把握できず、子どもたちが抱える困りごとと、学校側の理解が乖離(かいり)しているケースも多いのではないかと懸念しています。

——なぜ、学校に行くことにつらさを抱え込んでしまう子が増えているのでしょうか?

一つはやはり、学校と子どもとの「マッチング・トラブル」が起きていることが考えられます。学校で求められていることと、子どもたちの状況が合っていない——従来の学校や授業のあり方にマッチしない子が一定数いるということです。

——学校との「マッチング・トラブル」とは具体的にどんなことが挙げられますか?

最も多いパターンとしては、教室での大きな音や声の問題が考えられます。教室での大きな声や音、先生の怒鳴り声が耐えられないほど苦痛だと感じる子もいます。でも、30人、40人も児童・生徒が集まっている場所で授業をしていたら、もちろん先生の声も大きくなりますし、教室の音もうるさくなりますよね。

それに耐えられる子は問題ないのですが、中には、どうしてもそういう状況が苦痛だという子も確かにいて傷ついてしまい、勉強どころではなくなることもあるんです。そういった意味でも、学校とその子がマッチしていない、と言えると思います。ほかにも「集団生活が苦手」「授業のスタイルが合わない」「校則が合わない」などの問題が考えられます。